

導入 → 定着 → 発展の3ユニット構成。
自然な流れで、学習した文法を使って短い文を書く練習ができます。
各レッスンのGOALである、SHAREとWRITEの発信活動につなげます。

各レッスンの流れ Clear I・II共通

文法を軸とする
シンプルな4ページ構成

レッスン内のモデル会話・文法演習・活動・語彙は
すべてレッスンのトピックの内容に統一されています。

導入 (1ページ目)

Start-Up ▶ p.9, 13, 23, 27

文法を含むモデル会話・英文

1 LESSON Meeting People
自分のことを話す

Start-Up 学校の近くで、登校中のMikeとShotaが会いました。

Mike: Good morning, Shota!
Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?
Mike: No, I live far from here, so I usually take the train. It takes about an hour.
Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I walk to school. It only takes ten minutes.
Mike: Oh, really? You're lucky! I don't like the long train ride.

Listening-TASK True or False? 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication 相手の話の要点を聞き取り、もう1つ情報を加えてみましょう。会話にリズムが生まれ、その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。

Forms 現在のことは現在形で表す
現在のことを伝えるときには、動詞の現在形を使います。現在形を使うと、「住んでいる」のような現在の状態や、「電車に乗る」など、ふだん繰り返していることを表すことができます。
I live far from here.
I take the train.
このような文の動詞の現在形が表すのは、「今」を中心として、過去から現在、そして未来へと広がる時間の範囲です。Do you walk to school?であれば、今現在だけのことでなく、「いつも」徒歩通学なの?とたずねているのです。

Expressions あいづちで関心を示す
Oh, really!のようなあいづちを打つことで、「そうなんだ!」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。Really?なら「そうなの?」というニュアンスです。I see. 「なるほど」と言って、理解を示すことができます。

Sounds /l/ /r/ /t/ の発音
/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先を歯茎の奥にもつげ舌全体をうしろに引いて発音します。
live, lucky, long, usually, school / really, ride, from, train, friend
light/right, lead/read, glass/grass, collect/correct

Talk
会話の内容を確認し、MikeとShotaになりきって会話をしてみましょう!

Pick-Up 学校には電車に乗ると言うとき、交通手段を表すbyを使ったI come to school by train.でも構いませんが、I take the train (to school).とするとより自然な表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike (bicycle). という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

- 1 **Start-Up** / **Listening-TASK**
学習文法項目が会話や英文の中でどのように使われるかを学習し、内容をリスニングで確認。
- 2 **Forms** / **Expressions**
文法を使って何が表現できるかを説明。やり取り等の活動で使える機能表現も紹介。

定着 (2-3ページ目)

Interactions ▶ pp.10-11, 14-15, 24-25, 28-29

基本例文・文法解説 → 確認問題 (CHECK) → 活動 (TASK) へ

Interactions 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在のことを表す (現在形)
① I have a cat and love him so much.
② I usually get to school at 8:30.
③ My mother teaches biology at a high school.

F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。
① 持っている、住んでいる、のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
② 繰り返していることや習慣になっていることを表すとき。
③ 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.).

CHECK [] から適当な語を適切な形にして、現在のことを表す英文を完成させよう。
walk / look / live / have / work / support
1. My grandfather () in Okinawa. He () his dog every day.
2. Andy () twin sisters. They () like each other.
3. Sara and I are soccer fans. We () the local team.
4. My uncle () for a trading company. He imports coffee beans.

TASK CHECKを参考に、自分や家族など、身近な人について友人に紹介する文を3文書いてみよう。

B 途中でであることを表す (現在進行形)
① I'm writing an essay for my English class.
② I think my cat is getting fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am / are / is + 動詞のing形) を使う。
① 現在している最中のことを表すとき。
② 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。

CHECK [] から適当な語を適切な形にして、英文を完成させよう。
[wear / get / take]
1. After a long discussion, they _____ a break now.
2. It _____ dark. Let's go home.
3. My sister _____ a suit for today's ceremony.

10-20 イラストの状況を想像して説明する文を、語彙を参考に書いてみよう。

C しようとしていることを表す (現在進行形+予定)
① My grandmother is visiting us tomorrow.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形を使ってこれからしようとしていることを表すことができる。
① これからしようとしている個人的な予定を表すとき (いつするの? を示す表現を入れる)。

CHECK [] に適切な語を入れて英文を完成させよう。
1. "What are you () after class?" "I'm () tennis with my sister."
2. My mother and I are () shopping this weekend.

10-20 今日の放課後か週末の予定を自由に考えて書いてみよう。

Vocabulary

- be good at (〜が得意である)
- leave for school (学校に出かける)
- walk one's dog (犬の散歩をする)
- go to cram school (塾に行く)
- brush one's teeth (歯を磨く)
- do club activities (部活動をする)
- be a graduate of (〜の卒業生である)
- wait for the bus (バスを待つ)
- get dressed (着替える)
- work part-time (アルバイトをする)
- work for (in, at) (〜で働く)
- belong to (〜に所属している)
- have/eat breakfast (朝食をとる)
- go shopping (買い物に行く)

Self-Check (できることに✓を入れよう)
① 現在のことを表すことができる。
② 途中でであることを表すことができる。
③ これからの予定を表すことができる。

- 3 **基本例文** / **F-GUIDE** (文法解説)
レッスンのトピックの内容に合わせた例文で文法学習しながら、活動の基盤づくり。文法説明が学習の助けとなる。
- 4 **CHECK** (文法確認問題)
演習問題を解きながら、学習文法項目を確認し、理解度をチェック。
- 5 **TASK** (活動)
③や④で学んだことを実際に使って試してみるコンパクトな活動 (書く・発表・やり取り)。
- 6 **Vocabulary**
⑤の活動のヒントとなる語彙・表現集。

発展 (4ページ目)

Active Learning ▶ p.12, 16, 26, 30

学んだ文法を使って自己発信活動

Active Learning Meeting People

7 **SHARE** クラスメイトのことを紹介しよう
① クラスメイトにインタビューして、集めた情報をメモしよう。
□ How do you come to school?
□ What do you do in your free time?
□ What is your favorite sport [food/subject]?

name _____
train / bus / bike / walk He/She _____
free time He/She _____ in his/her free time.
favorite thing His/Her favorite _____ is _____

② インタビューしたクラスメイトのことをグループで紹介しよう。
聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

8 **WRITE** いつもの行動について書く
① 自分がいつも朝にしていることを書き出そう。
□ I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast.
I ride my bike to school. It takes 15 minutes.
② andやfirst, then, after thatなどを使って、時間の流れにそって朝の習慣を書いてみよう。

□ I usually get up at 6:00. First, I get dressed, and then I eat breakfast. I sometimes take my dog for a walk. After that, I leave for school at 7:15.

Self-Check (できることに✓を入れよう)
インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。□□□
朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。□□□
□ よかった。 □ まあまあだった。 □ あまりできなかった。

Logical Thinking
自分のことを伝えるときに、I play the piano. I read many books.のようにばらばらの事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I play the piano. I love classical music.のように、前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。

- 7 **SHARE** (Speaking Goal)
グループでやり取りをしながら考えをまとめ、発表する。
- 8 **WRITE** (Writing Goal)
レッスンのトピックについて、Iは3文程度から50語、IIは50-80語の英文を書く。

